東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現を求める要請書

竹ノ塚駅周辺地域は、東武伊勢崎線の平面交差により、東西の市街地が完全に分断され、竹ノ塚駅を中心とした一体的な発展が阻害されて来た。

また、南北にある踏み切りは、時間帯によっては一時間で五十分以上も閉まっている「開かずの踏み切り」と言われ、迂回する車が引き起こす交通渋滞や事故が地域住民の大きな問題であった。

特に踏み切りは、短時間の開放時、車・自転車・歩行者が一斉に先を急いで通行するため、高齢者を始め障害者や子供は遮断機が下りる前に渡りきれないことが日常的であり、常に重大事故発生の危険があった。

このような状況にあって、平成十七年三月十五日の夕刻、東武伊勢崎線竹ノ塚駅南側踏切（赤山街道）で四人が死傷すると言う地域住民が恐れていた重大事故が発生した。

私たち地域住民は、昭和五十五年七月、踏切高架化の請願採択と同時に、東武鉄道の高架化問題に取り組み、平成十三年十二月には五万四千名にも及ぶ署名運動を展開し、関係機関に早期実現を強く働きかけて来た。

しかし、当事者である東武鉄道は鉄道車庫の位置等の技術面から、行政関係機関は鉄道高架事業の採択基準等を理由に、竹ノ塚駅周辺の高架化問題を先延ばしにして来た。

東京都が平成十六年度策定した踏切対策基本方針の中では、二十ある検討対象区間の一つに位置づけられたが、具体的な実施時期は示されず、我々は一刻の猶予もできないと考えている。

このような悲惨な事故を再び繰り返さないためにも、当事者である東武鉄道はもちろん、監督省庁である国土交通省・東京都並びに足立区に対して、鉄道高架化の一日も早い実現を地域住民の総意に基づき強く要請する。

平成十七年三月二十八日

渕江町会自治会連合会　会長　古庄孝夫
他　役員一同
伊興地区町会自治会連絡協議会　会長　高橋　清
他　役員一同

国土交通大臣　北側一雄　様
東京都知事　石原慎太郎　様
足立区長　鈴木恒年　様
東武鉄道株式会社社長　根津嘉澄　様

右の趣旨に賛同し署名します。

氏名	住所